

# COVID-19 流行下による 自宅死亡の増加



教授 **宮下光令**  
 東北大学大学院 医学系研究科  
 保健学専攻 緩和ケア看護学分野

1994年3月東京大学医学部保健学科卒業。臨床を経験した後、東京大学大学院医学系研究科健康科学・看護学専攻助手・講師を経て、2009年10月東北大学大学院医学系研究科保健学専攻緩和ケア看護学分野教授。専門は緩和ケアの質の評価。

COVID-19が流行して以降、面会制限が厳しくなったことで自宅で亡くなる患者が増えたという話を聞いたことがないでしょうか。また、病棟で働く方々、在宅ケアに従事している方々はそれを実感されている方も多いと思います。私はCOVID-19が流行して以降の自宅死亡に関する実証データを見たことがなかったので、今回、人口動態統計<sup>1)</sup>のデータを少し整理してみました。

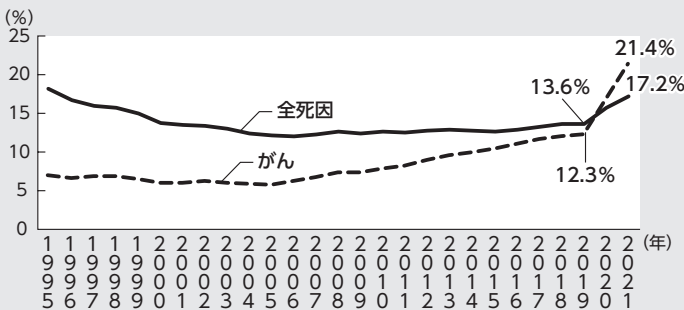
**図1**は1995年から2021年までの自宅死亡割合の変化です。死因に関係なくこの20年、自宅で亡くなった人は全体の12～13%で推移しており、COVID-19流行直前の2019年は13.6%でした。しかし、2020年には15.7%、2021年には17.2%と2年の間に3.6ポイント上昇しました(26%の増加率)。驚くのは、死因ががんの場合です。がんはもともと自宅死亡割合が他の死因より低く、2005年には5.7%まで低下したのですが、その後の国の政策もあって2019年には12.3%まで上昇しました。それがCOVID-19の流行が始まった2020年には16.9%、2021年には21.4%と、2年間で9.1ポイント上昇しました(74%の増加率)。がんの自宅死亡割合の増加量は驚異的な数値です。

ここで気になるのは都道府県の違いです。2019年における全死因の自宅死亡割合が最も高かったのは東京都の18.9%で、最も低かったのは大分県の7.8%でした。死因ががんの場合は、最も高かったのは神奈川県20.0%で、最も低かったのは秋田県の4.1%と大きな開きがありました。これがCOVID-19の流行によってどのように変化したでしょうか。

**図2**の横軸は2019年の自宅死亡割合、縦軸は2019年から2021年までの2年間の自宅死亡の増加量を示しています。まず全死因について見ていきましょう。分布が全体的に緩やかに右上がりになっていることから、もともと自宅死亡割合が多かった都道府県ほど増加率が大きいことが分かります。少し外れた傾向にあるのは沖縄県で、自宅死亡割合は中程度でしたが、増加量は全国トップにな

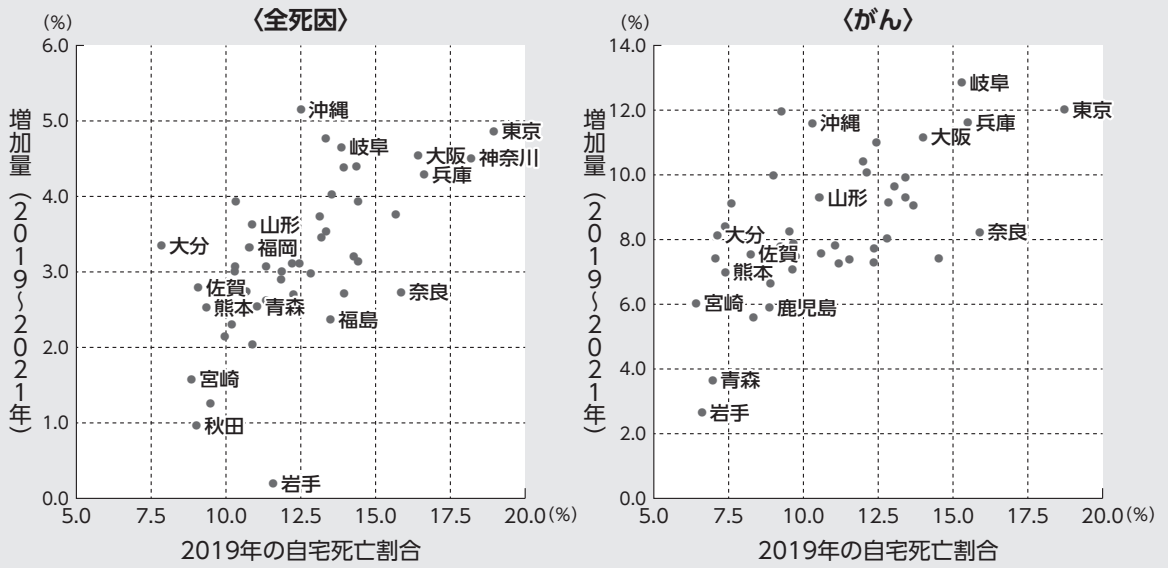
増加量を示しています。まず全死因について見ていきましょう。分布が全体的に緩やかに右上がりになっていることから、もともと自宅死亡割合が多かった都道府県ほど増加率が大きいことが分かります。少し外れた傾向にあるのは沖縄県で、自宅死亡割合は中程度でしたが、増加量は全国トップにな

**図1 自宅死亡割合の変化**



人口動態統計を基に筆者作成

図2 都道府県別コロナ流行前の自宅死亡割合とコロナ流行下（2019～2021年）の増加量



す<sup>2~4)</sup>。もちろん、COVID-19の流行状況や死亡者数、医療提供体制が異なる欧米と単純に比較することはできませんが。今回の流行で、病院の医師は「これまで無理だと考えていた患者も自宅に戻ることができた」と気づいたかもしれません。この傾向がどこまで続くのか、さらなる上昇はあるのか、興味深く思っています。

#### 引用・参考文献

1) 厚生労働省：人口動態調査

<https://www.mhlw.go.jp/toukei/list/81-1a.html> (2023年3月閲覧)

2) Wu J, Mafham M, Mamas MA, Rashid M, Kontopantelis E, Deanfield JE, de Belder MA, Gale CP. Place and Underlying Cause of Death During the COVID-19 Pandemic : Retrospective Cohort Study of 3.5 Million Deaths in England and Wales, 2014 to 2020. *Mayo Clin Proc.* 2021 ; 96 (4) : 952-963.

3) O'Donnell SB, Bone AE, Finucane AM, McAleese J, Higginson IJ, Barclay S, Sleeman KE, Murtagh FM. Changes in mortality patterns and place of death during the COVID-19 pandemic : A descriptive analysis of mortality data across four nations. *Palliat Med.* 2021 Dec ; 35 (10) : 1975-1984.

4) Wentlandt K, Wolofsky KT, Weiss A, Hurlburt L, Fan E, Zimmermann C, Isenberg SR. Physician perceptions of restrictive visitor policies during the COVID-19 pandemic : a qualitative study. *CMAJ Open.* 2023 ; 11 (1) : E110-E117.